

WITH
YOU

より近く。より深く。
ともに未来へ。

REPORT

中間ディスクロージャー誌 | 2024年3月期 営業のご報告 |

 千葉興業銀行

地域とともに

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

「親切」の心で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

目次

- 04 ごあいさつ
2024年3月期 中間業績のご報告（単体）
- 05 千葉興業銀行のサステナビリティへの取組み
- 09 お客さまの声にお応えするための取組み
- 11 中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組状況

<財務データ>

- 15 目次
- 16 連結財務データ
- 28 単体財務データ

<自己資本の充実の状況等について>

- 51 目次
- 52 自己資本の構成に関する開示事項（連結）
- 54 定量的な開示事項（連結）
- 61 自己資本の構成に関する開示事項（単体）
- 63 定量的な開示事項（単体）
- 70 参考

プロフィール（2023年9月30日現在）

名称	株式会社千葉興業銀行
英文表示	The Chiba Kogyo Bank, Ltd.
本店所在地	千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
設立年月日	1952年1月18日 (営業開始：1952年3月3日)
資本金	621億2,053万3,949円
店舗数	80店舗（県内78店舗、都内2店舗）
従業員数	1,284名

— 親切的なパートナーとして みなさまの幸せをともにデザインし続ける —



ごあいさつ

このたびの令和6年能登半島地震により、犠牲になられた方々に深い哀悼の意を表すとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。余震が断続的に発生するなど、多くの方々が不安な日々を過ごされていることと存じます。一日も早い復旧・復興と、被災されたみなさまが平穏な日常を取り戻せるよう、お祈り申し上げます。

近年、異常気象による災害が頻発しており、気候変動対策は世界共通の課題として取り組まなければなりません。当行もサステナビリティを経営戦略における重要事項の一つとして位置付け、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同や2050年までのカーボンニュートラルを宣言する等、脱炭素を当行が果たすべき責務として気候変動対策に取り組んでおります。

当行が営業基盤とする千葉県は、素材・鉄鋼・エネルギー等の産業が盛んであり、温室効果ガス排出量が全国の中でも多くなっております。当行では地域を挙げた脱炭素社会への移行を円滑に進めるために、お取引先との対話を重ねながら脱炭素支援コンサルティングに意欲的に取り組むとともに、当行自身も中長期的なKPIであるESG投融資・サステナブルファイナンス実行額目標とCO₂排出量削減目標を上方修正するなど、環境課題・社会課題の解決に向けた取組みを率先して強力に進めております。

「地域とともに お客さまのために『親切』の心で」。当行の企業理念を着実に実践し、お取引先、地域のサステナビリティの実現に向けて行動することが、当行のミッションです。これからも株主・お取引先・地域のみなさまからのご期待に沿えるよう、役職員一丸となり各課題に取り組んでまいります。引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年1月

取締役頭取・CEO

梅田 仁司

2024年3月期 中間業績のご報告（単体）

経常利益	60億70百万円	前年同期比3億43百万円減少
中間純利益	46億40百万円	前年同期比4億51百万円減少
預金残高	2兆8,826億円	前年同期比51億円増加（年間増加率0.1%）
貸出金残高	2兆3,876億円	前年同期比573億円増加（年間増加率2.4%）
中小企業等貸出残高	2兆1,028億円	前年同期比439億円増加（年間増加率2.1%）

※計数は単位未満切捨て表示となっております。

千葉興業銀行のサステナビリティへの取り組み

●中長期的なKPIの一部上方修正

当行は『サステナビリティ』への取り組みに関する基本方針のもと、2022年4月に開始した中期経営計画「幸せデザイン 絆プロジェクト 2025」において中期経営計画最終年度および2030年度までの中長期的なKPIを設定し、サステナブルファイナンスの推進やCO₂排出量の削減に向けた取り組みを進めております。

近年、地球温暖化にともなう異常気象により豪雨等の激甚災害が増加しております。地球温暖化を防止するためにはCO₂排出量の削減は必要不可欠であり、当行のみならず地域のみならずとも脱炭素を図っていくことが最優先であると考え、中長期的なKPIの中で脱炭素を推進していくにあたり重要な要素となるESG投融资・サステナブルファイナンスとCO₂排出量削減目標を上方修正することといたしました。

上方修正した中長期的なKPIは下記のとおりです。

項目		修正後目標 上段：中計（2024年度） 下段：2030年度まで	修正前目標 上段：中計（2024年度） 下段：2030年度まで
経済	ESG投融资・サステナブルファイナンス	3,500億円	1,500億円以上
		1兆円	5,000億円
社会	女性役職率	変更なし	30%以上
		変更なし	35%以上
	金融リテラシー教育参加人数	変更なし	3,000人以上
		変更なし	延べ1万人
環境	CO ₂ 排出量の削減 ※対象はScope1+2	2019年度比20%削減	2013年度比35%削減
		2019年度比48%削減	2013年度比46%削減

●サステナビリティ重点項目（マテリアリティ）

当行は地域金融機関として、千葉県の持続可能性を実現することこそが、当行およびステークホルダーの成長と発展につながっていくという考えのもと、次世代が誇れるような光り輝く千葉へさらに飛躍するために千葉県の諸課題の中から、当行が持つ強みを発揮することで解決に寄与できる項目を優先課題として抽出し、重点項目へ絞り込んでおります。



産業の活性化と千葉の魅力創造

地域資源を活用した特産品の開発や地場産業の育成などを通して地域経済を活性化させ、千葉の新たな魅力創造に取り組みます。



千葉の未来を担う人材の育成

地域の成長を支える人材の育成に取り組むとともに、一人一人の働きがいと経済的な質の向上に取り組めます。



安心して暮らせる豊かな千葉の実現

地域の防災・防犯への備えや医療体制の整備をはじめ、環境への負荷を軽減する取り組みを通じて、安心して暮らせる豊かなまちづくりに取り組みます。



産業の活性化と千葉の魅力創造

千葉県の魅力を伝える子ども向け絵本「ちばのいちばん してた？」の制作

千葉県の魅力を地域の子どもたち、親世代の方々に広く知ってもらうことを目的とし、当行オリジナルキャラクターであるちばコーギーを主人公とした子ども向け絵本「ちばのいちばん してた？」を制作いたしました。

当行のサステナビリティ重点項目で謳っております「次世代が誇れる光り輝く千葉」をテーマとして、千葉県が全国に誇る名産や名所をちばコーギーが紹介する物語です。本取り組みは、千葉県誕生150周年記念事業への協力も兼ねております。

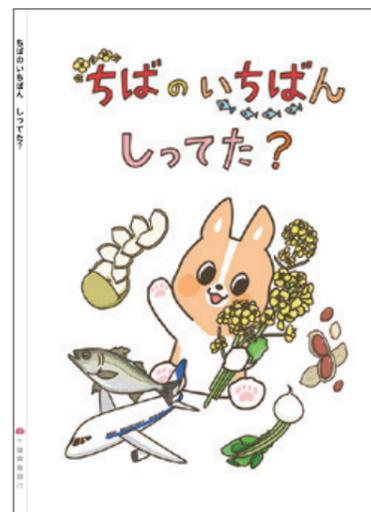
絵本のイラストは、ちばコーギーの原案者であり、学生時代に幼児教育について学んだ当行行員が描き下ろしました。

制作した絵本は、当行お取引先を中心に県内の保育園、幼稚園、託児所等157先（2023年12月末現在）に寄贈し、社会福祉法人おもしろ福祉会 ちはら台東保育園さまにて開催した贈呈式では、ちばコーギーの原案者である当行行員が園児に対し絵本の読み聞かせを行いました。

当行ホームページでは、クリックまたはタッチでちばコーギー等のイラストの一部が動く「ちばのいちばん してた？」デジタルBOOK版を公開しております。

「ちばのいちばん してた？」デジタルBOOK版はこちら

<https://www.chibakogyo-bank.co.jp/kojin/character/ehon/>



「ちばのいちばん してた？」表紙



当行行員による絵本の読み聞かせ

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結

当行は、SDGsへの取り組みの一環として、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）」を取り扱っております。「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」では、SDGsに積極的に取り組むお客さまのサステナビリティ経営を適正に評価すると同時に、株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見を受けております。

（※）企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面において与えるインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析し、特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資手法です。

2023年9月に、当行は、芳源マッシュルーム株式会社（代表取締役 菅佐原 芳夫、以下、同社）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」契約を締結し、1億円の融資を実行いたしました。同社は、1967年創業のマッシュルーム栽培事業者であり、マッシュルームの生産量は、国内シェアトップを誇ります。国産、無農薬にこだわり、かつJGAPに基づいた品質管理により、安全・安心、新鮮で栄養価の高い商品提供を可能としています。

同社は、サステナビリティ長期ビジョンに基づき、「サステナブルな企業」、「持続可能な企業価値の向上に取り組む企業」、「持続可能な地球、社会づくりに貢献する企業」をめざしており、ポジティブインパクトを拡大する領域とネガティブインパクトを低減する領域各々にKPIを設定しました。当行は、融資およびその他コンサルティングの実施、当行が持つネットワークから外部連携先とのマッチング機会等をご提供し、KPI達成に向けたサポートをしております。

千葉の未来を担う人材の育成

「副業人材マッチング支援事業」に係る連携協定締結

当行は、千葉県、株式会社みらいワークス（代表取締役社長 岡本 祥治）、県内10金融機関（※1） および2商工団体（※2）と「副業人材マッチング支援事業」に係る連携協定を締結いたしました。本協定を通じて、地域企業等と専門能力を持つ副業人材をマッチングさせ、副業プロ人材の活用を推進することで、県内の地域企業等の課題解決を通じた関係人口の創出および地域活性化をめざします。

※1 千葉銀行、京葉銀行、千葉信用金庫、銚子信用金庫、館山信用金庫、佐原信用金庫、房総信用組合、銚子商工信用組合、君津信用組合、日本政策金融公庫

※2 千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会

副業プロ人材活用推進の概要

千葉県内11金融機関、2商工団体は、経営課題を抱える千葉県内7地域（香取、海匝、山武、長生、夷隅、安房、君津）の企業に、「副業プロ人材の活用」を紹介し、企業は経営課題を解決するための求人情報を「Skill Shift」に掲載します。「Skill Shift」は地域中小企業で副業を希望する都市部副業プロ人材11,000名以上が登録する、地方副業マッチングプラットフォームです。

千葉県は事業推進のため、「Skill Shift」の利用にかかる求人掲載費用の全額を負担します。

株式会社みらいワークスは、「Skill Shift」管理画面の提供、副業人材活用セミナーの開催、副業プロ人材の集客、副業プロ人材活性化のサポート等を実施します。



千葉県内の小学生に向けた金融教育授業

ZOZOマリスタジアムで、次世代を担う子どもたちへの金融経済教育の普及を目的とし、県内の小学5、6年生を対象とした金融教育・仕事体験イベント「サマーキッズスクール2023」を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2020年以降は中止していましたが、今回は4年ぶりの開催となりました。

参加した小学生は、「お金の役割」や「働くことの大切さ」、「お金の使い方」等について学習した後、千葉ロッテマリーンズファンクラブブースの手伝いや、お客さまを迎える準備としてスタジアムの清掃等をする「体験」をしました。

また、学校法人千葉学園千葉商科大学（学長 原科 幸彦）が近隣小学生を対象に年2回開催している「CUCキッズ大学」の1講義において、金融教育に関する出張授業「Go!Go!マネースクール」を開催し、当行行員が講師を担当いたしました。

講義では、小学4年生から6年生を対象に、「お金」の果たす役割や、上手に賢く「お金」を貯める方法などをテーマに、ゲームやクイズを交えて学習していただきました。



「サマーキッズスクール2023」ZOZOマリスタジアムでの仕事体験



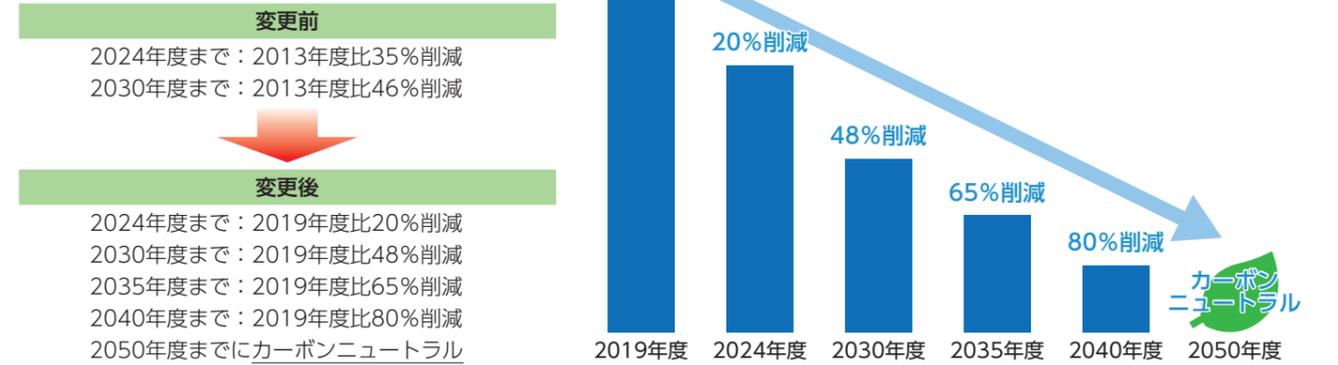
「Go!Go!マネースクール」講義風景

安心して暮らせる豊かな千葉の実現

千葉興業銀行グループ カーボンニュートラル宣言

当行グループは、2050年度までにカーボンニュートラル達成をめざすことといたしました。カーボンニュートラル達成に向けて、2023年8月に、下記の通りCO₂排出量削減目標の見直しを行っております。

《CO₂排出量削減目標（Scope1+2）の見直し》



「千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアム」に入会

千葉市が「脱炭素先行地域」に県内で初めて選定されたことに伴い、官民連携で脱炭素先行地域づくり事業を実施するために設立した「千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアム」に、賛助会員として入会いたしました。

「千葉市脱炭素先行地域推進コンソーシアム」は、多様な主体の積極的な参画や連携を促し、千葉市における再生可能エネルギーの導入や地産地消、市民や事業者などの行動変容の促進等に取り組むことによって脱炭素先行地域づくり事業を推進し、もって市域における環境と経済の好循環および環境とレジリエンスの同時実現を図ることを目的としております。



千葉市サステナビリティボンドおよび千葉県サステナビリティボンドへの投資

千葉市が発行するサステナビリティボンド（千葉市令和5年度第4回公募公債）および千葉県が発行するサステナビリティボンド（千葉県令和5年度第7回公募公債）に投資いたしました。

サステナビリティボンドは、調達資金の全額が環境問題の解決をめざすグリーンプロジェクト（ブループロジェクト含む）や、社会課題の解決をめざすソーシャルプロジェクトに使われる債券です。

	銘柄	千葉市令和5年度第4回公募公債	千葉県令和5年度第7回公募公債
資金使途	グリーンプロジェクト（ブループロジェクト含む）	市有施設（グリーンビルディング）の新設・改修、鉄道・モノレール関連施設・設備整備、河川の管理・改修	河川・海岸・砂防整備事業、農地防災事業、治山施設等事業、洋上風力発電のメンテナンス事業、漁場の整備事業
	ソーシャルプロジェクト	学校・教育施設整備、防災・災害対策、市有施設のバリアフリー化	交通安全施設の整備事業、特別養護老人ホーム等整備事業

気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション（気候変動対応オペ）

当行は、日本銀行が行う気候変動対応を支援するための資金供給オペレーションの対象先に選定されております。

気候変動対応オペの対象投融資の実績（残高）：147億円（2023年9月末）

お客様の声にお応えするための取り組み

お客さまを第一に考えて行動し、お客さまのニーズやご意見に真摯に向き合うことで、お客さまの目線に立った経営施策・営業施策を策定し、お客さまの利益に真に合う商品・サービスを提供してまいります。

お客さまの目線に立った商品・サービスの改善や事務手続きの改定

当行は、店頭・外訪・電話等、あらゆる接点において、お客さまのご意見・ご要望を積極的に収集しております。頂戴したご意見・ご要望をもとに、お客さまの目線に立った商品・サービスの改善や事務手続きの改定等を行うよう努めております。お客さまのお声をもとに、2023年度に実施した商品・サービス、事務手続きの改善例をご紹介します。

お客さまの声

積立式定期預金の引出を取引店以外の窓口でもできるようにしてほしいです。高齢なのでインターネットバンキングでの手続きは難しいです。

マイドリームのお引出、取引店以外でも可能に

ご不便をおかけいたしました。お取引いただいている店舗以外の窓口でも、積立式定期預金（マイドリーム）のお引出の他、口座開設、ご解約のお手続きが可能となりました。

ちば興銀アプリに家族口座見守りサービス追加

ちば興銀アプリに「家族口座見守りサービス」を追加いたしました。ご家族を登録いただくことで、残高や入出金明細を共有することができます。

お客さまの声

高齢の両親や離れて暮らす子どもの口座取引を家族が照会できると、家計の管理ができて便利ですし、安心できると思います。

お客さまのお声

キャッシュカードを失くし、店頭で再発行の手続きをしましたが、紛失届の他に暗証届も記入しなければならず、氏名や住所を何度も書くのが大変でした。

記入・押印レスのキャッシュカード発行手続き

店頭タブレットでのお手続きにより、暗証届の記入や押印が不要になりました。なお、キャッシュカード等の紛失・再発行手続きは、インターネットバンキングでも受付を開始いたしました。



お電話

☎ 043-243-2111 (代表)

「お客さまサービス部」とお申し付けください。
受付時間：平日 9:00～17:00
(祝日と銀行休業日を除く)

郵送

各店舗のATMコーナー、店頭備付の「お客様の声カード」をご利用ください。

WEB

フォームに必要項目をご入力の上、送信してください。
<https://www.chibakogyo-bank.co.jp/cs/>



お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

当行は、「企業理念」において、お客さまを第一とした企業活動を行う上での基本的価値観を全役職員が共有し、お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）を全うすべく、お客さまの多様なニーズへの的確な対応や、コンサルティング機能を提供する取組を行っています。

当行は、これからもお客さまの利益に真に合う商品を提供し、お客さまから最も信頼される銀行であり続けるべく、資産運用関連業務に関するお客さま本位の業務運営の実践に向けた取組方針を策定・公表し、お客さまの立場に立った施策を実践してまいります。

- 1 お客さまのニーズに適した商品ラインアップの構築
- 2 お客さまへのコンサルティングを通じた投資商品の提供
- 3 お客さまそれぞれのゴールの実現に向けたアフターフォローの実施
- 4 お客さまが安心して安定的な資産形成を実現するための基盤の構築

「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」にかかる取組状況

本方針に基づく取組状況を分かりやすくご確認いただけるよう成果指標（KPI）を取りまとめ公表しております。

詳しくは、当行ホームページをご覧ください。

※お客さま本位の業務運営に関する取組方針

<https://www.chibakogyo-bank.co.jp/other/fiduciary.html>

※「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」にかかる取組状況について—2022年度—

https://www.chibakogyo-bank.co.jp/other/pdf/fiduciary_2022.pdf

TOPICS ちば興銀アプリのリニューアル

ちば興銀アプリをリニューアルいたしました。視認性を高めるため、トップ画面のデザインを刷新するとともに、ちば興銀ダイレクト（インターネットバンキング）の機能である振込・振替・請求書支払・定期預金・投資信託等の取引をアプリ内で完結できるようにしたため、より使いやすくなりました。

新たなサービスとして、目的・金額・期限をご自身で設定して計画的に貯蓄ができる「目的別貯蓄預金」、高齢のご両親やお子さま等の口座の残高や入出金明細を確認することができる「家族口座見守りサービス」を追加した他、残高表示画面を当行オリジナルキャラクター「ちばコーギー」等に切り替えることができる「きせかえ」機能も搭載しております。

トップ画面に口座の残高を表示
※「非表示」ボタンにより口座の残高を非表示とすることが可能。

振込、振替、口座一覧（残高照会）等をわかりやすく表示。

タップしやすい下部に固定メニューとして「取引」ボタンを配置。請求書支払、定期預金、投資信託等ちば興銀ダイレクトの機能が簡単に利用可能。



きせかえ画面一例（イメージ）

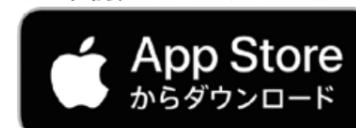


ちばコーギー



マーくん、リンちゃん、ズーちゃん

ちば興銀アプリのダウンロードはこちら



Apple、Appleロゴは、米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組状況

(地域密着型金融の推進)

企業理念

地域とともに お客さまのために「親切」の心で

企業理念の実践こそが、地域密着型金融の実現そのものであると考えております。地域の中小企業・個人事業主、個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

1 中小企業の経営支援に関する取組方針

当行は、地域の中小企業等のお客さまの状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関等と十分連携を図りながら、円滑な資金供給に努めるとともに、お借入条件の変更等のご相談へ適切に対応してまいります。特に、地域金融機関として地域経済の活性化および地域における金融の円滑化等に向け、コンサルティング機能の発揮を通じ、中小企業をはじめとするお客さまの経営改善等に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

2 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

当行は、中小企業等の経営の改善および地域の活性化に向け、本部と営業店との協働や、外部機関・専門家の活用・連携により、中小企業等のお客さまの抱える経営課題に対し、適切なコンサルティング機能を発揮するよう態勢を整備し、取り組んでおります。また、当行は、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けております。

お客さまの事業ステージ毎のニーズ

創業・新事業
開拓支援

成長期における
支援

経営改善・
事業再生支援

事業承継
支援

地域
活性化への
積極的な参画

コンサルティング機能の発揮 (最適なソリューションの提供)

千葉興業銀行

営業店

本部サポート

本部

営業本部 (営業企画部・営業支援部・営業推進部)

創業・新事業開拓 成長支援 事業承継 M&A 経営改善 事業再生支援

関係各部

地域の面的再生支援 他

地域や利用者に対する積極的な情報発信

外部機関・専門家

- 千葉県、各市町村
- 中小企業活性化協議会
- 地域経済活性化支援機構
- 千葉産業復興機構
- 中小企業支援ネットワーク
- 県内大学等研究機関
- 政府系金融機関
- 業務提携企業
- 経営コンサルタント
- 税理士・公認会計士
- 弁護士
- 中小企業診断士 他

連携

3 中小企業の経営支援に関する取組状況

(1) 創業・新事業開拓をめざす企業に対する支援

対応方針

- ◆ 公的な補助金や制度融資、企業育成ファンド等を活用し、事業立上げ時の資金需要へ積極的にお応えしております。
- ◆ 産官学連携を活用し、企業の技術評価と製品化・商品化、販路開拓、人材確保等を支援しております。

「補助金診断システム」を利用した補助金相談を開始

補助金活用のDXを推進する「補助金クラウド」を提供する株式会社Stayway (代表取締役 佐藤 淳) と提携し、「補助金診断システム」を利用した補助金相談を開始いたしました。

「補助金診断システム」では、AIによる補助金・助成金診断の後、その診断結果について、公認会計士等の専門家に相談することができます。専門家への相談後にお客さまが補助金の申請を希望する場合、補助金・助成金に関する情報提供、相談対応、申請支援までをStaywayが一気通貫で支援する「補助金申請支援コンサルティング」を提案させていただきます。

補助金は、経営課題や展開事業など、用途によって利用できる補助金が異なり、非常に多数の補助金が存在します。また、公開されている補助金情報は国や自治体ごとに散在しており、申請要件も複雑なために、自社にマッチした補助金を探すこと自体が困難であるという課題が存在します。「補助金診断システム」活用により、こうした課題の解決をめざすものです。

(2) 成長段階にある企業に対する支援

対応方針

- ◆ ビジスマッチングや技術開発支援による販路拡大支援、海外進出等の新たな事業展開に向けた情報の提供、事業拡大に必要な調達手段の多様化への対応等積極的に支援しております。
- ◆ 中小企業基盤整備機構等の公的機関、地方公共団体や中小企業支援団体、他の金融機関等と連携し、企業が成長する過程で必要なサポートを行っております。

アウトドアブランド「ogawa」を運営するキャンパルジャパン株式会社のVR店舗導入を支援

国内老舗アウトドアブランドである「ogawa」を運営するキャンパルジャパン株式会社 (代表取締役 伊川 良雄) のVR店舗導入支援をいたしました。VR店舗では、インターネット上に「GRAND lodge 小平店」を完全再現し、消費者が実店舗に向くことなく、バーチャル空間で買い物体験ができるようになります。店舗内の様子を見るだけでなく、展示されているテントの設置方法の動画再生や、商品のオンラインショッピングがその場でできるなど、ウェブサイトのもつ利便性も兼ね備えております。



本取組みは、デジタルソリューション事業を手掛ける株式会社STUDIO55 (代表取締役 木村 光希) と、当行の関連会社でシステム開発を行っているちば興銀コンピュータソフト株式会社 (代表取締役社長 古山 隆志) を交えた初の支援事例です。

株式会社カミナシとビジスマッチング契約を締結

当行およびちば興銀コンピュータソフト株式会社は、現場DXプラットフォーム「カミナシ」を提供する株式会社カミナシ (代表取締役CEO 諸岡 裕人) とビジスマッチング契約を締結いたしました。

「カミナシ」は、作業チェックなど現場の業務フローをノーコードでデジタル化する現場DXプラットフォームです。これまで紙やエクセルで行っていた手書き情報のデータ化から集計、報告等の作業をアプリにすることで、現場での正しい作業ナビゲーションの徹底やチェックデータのリアルタイム一元管理を実現します。当行から「カミナシ」をご紹介することにより、業務効率化やデジタル化を通じた当行お取引先企業のDX推進を支援してまいります。

本連携の第1号案件として、水産加工業を展開する株式会社エスケーフーズ (代表取締役 菅原 寿朗) に「カミナシ」の導入が決定いたしました。

(3) 経営改善・事業再生が必要な企業に対する支援

対応方針

- ◆ 経営課題の把握と分析による取引先企業の事業持続可能性を踏まえた経営改善・事業再生等に対して積極的に取り組んでおります。
- ◆ 経営改善・事業再生支援の実効性を向上させるため、行員のスキルアップに取り組んでおります。

クリーニング店を運営するお取引先への経営改善計画策定支援

当行お取引先A社はクリーニング店を3店舗運営する地元企業です。業歴は約40年を重ね、主要顧客である地元住民・企業の利用頻度も高く、地域に根ざしたサービスを提供しています。昨今のファストファッションの主流化、リモートワークの普及、洗濯溶剤・光熱費の高騰等の事業環境により業績が低迷していたところに、新型コロナウイルス感染症の影響による利用顧客のさらなる減少が重なり、厳しい経営状況に陥っていました。

当行は、この難局をともに乗り切るため、千葉県中小企業診断士協会と連携し、経営改善計画の策定支援に着手いたしました。経営改善計画ではドライ機更改による洗濯溶剤のコスト削減、役員報酬の削減等に取り組む他、企業存続・発展の基礎となる事業承継問題にも着目。後継者による事業改善への積極的な関与に加え、技術の伝承等を計画的に実施していく必要性を提言、金融面のサポートだけでなく将来を見据えたサポートを行いました。

(4) 事業承継が必要な企業に対する支援

対応方針

- ◆ 事業承継問題は当該企業の存続のみならず、取引先との商流、従業員の雇用、地域への影響等も大きいことから、経営者へ積極的に関与しております。
- ◆ 必要に応じて税理士や弁護士等の外部専門家と連携し、自社株評価や相続税試算等を行い、相続や自社株譲渡の対策、後継者の株式買取資金を支援しております。
- ◆ 資産の承継以外にも、事業の見直し（第二創業）、ノンコア事業の切り離し、M&A、後継経営者の人材育成等、存続に必要な提案を積極的に行っております。

ちば興銀「コスモス経営塾」第10期生スタート

ちば興銀「コスモス経営塾」は、将来の日本を背負う事業経営者を千葉県から育成・創出することを願い、2004年9月に発足いたしました。本塾は、明日の企業経営を担う経営者相互の交流と経営に関する啓発・情報交換等を通じて、創業・経営革新の修得ならびに塾生同士の親睦を図ることを目的としており、入会資格は後継者のみならず、経営者本人・経営幹部としております。

2023年5月に、第10期生の開講式をホテルニューオータニ幕張にて開催し、これから約1年半にわたるカリキュラムをスタートさせました。次世代を担う若手経営者、事業承継者、経営幹部など47名が入塾した第10期生のカリキュラムは、「自社の全体最適マネジメント体系の構築」を主要テーマに、価値観を高める修養的学習、合理的な戦略を導き出す論理的思考、そして優れた業績を創造する実益的学習の、経営者や経営幹部が身に付けなければならない3つの学習体系で構成された最新のマネジメント学習となっております。

開講式の後、最初の講座として、「『宣言』で終わりにしないSDGs～脱炭素にむけて～」と題し、株式会社大川印刷 代表取締役社長 大川 哲郎 氏からご講演いただきました。



■事業性評価への取り組み

地域密着型金融の推進による地域経済や地元の産業・企業の発展への貢献に向け、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に把握した上で（事業性評価）、これまで以上に、企業の各種ニーズや経営課題に対する各種ソリューションを提供してまいります。

事業性評価にあたっては、お取引先企業の財務状況などの定量的な分析に加え、企業のビジネスモデル、商流、組織力、技術力といった定性的な分析を行い、経営課題やニーズの把握を行ってまいります。

■経営者保証に関するガイドライン

経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の促進と、既存の保証契約の見直しに取り組んでおります。

ガイドラインを踏まえた取組状況	2022年度上期実績	2022年度下期実績	2023年度上期実績
新規で無保証で融資した件数	1,014件	1,128件	1,721件
保証契約を変更した件数	16件	25件	25件
保証契約を解除した件数	75件	73件	81件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	26.9%	28.1%	41.1%
経営者保証ガイドラインを適用した与信先数の割合(全与信先比)	19.9%※年度実績		—

事業承継時におけるガイドラインへの取組状況	2022年度上期実績	2022年度下期実績	2023年度上期実績
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除し、かつ、新経営者との保証契約を締結しなかった割合	12.5%	5.4%	14.9%
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除する一方、新経営者との保証契約を締結した割合	64.6%	40.9%	34.3%
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約は解除しなかったが、新経営者との保証契約は締結しなかった割合	22.9%	51.6%	50.7%
代表者の交代時において、旧経営者との保証契約を解除せず、かつ、新経営者との保証契約を締結した割合	0.0%	2.1%	0.0%

4 地域の活性化に関する取組状況

対応方針

- ◆ 「医療・介護・福祉」や「農林水産」といった成長分野事業の育成を通して地域経済の活性化につなげております。
- ◆ 地方公共団体や中小企業支援団体と連携し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供を行っております。

地域情報発信サイト「ちばトク！」お取引先や千葉県各地のイベント情報をお届け

長期経営戦略で掲げている、ステークホルダー同士のつながり「CKBコミュニティ」の確立に向けたサービスの一つとして、当行お取引先の商品、サービス、クーポン情報を提供するサイト「ちばトク！」を運営しております。運営開始から約半年間で掲載数は250件を突破いたしました（2023年9月30日現在）。また、お取引先の情報のほか、千葉県各地で開催される物産展や美術展、お祭り等の地域イベント情報もコンテンツに追加いたしました。各イベント開催地の近隣で利用できるクーポン情報も併せてご案内することで、イベントに訪れる方々の周辺スポットへの回遊を促進し、地域活性化へつなげることをめざしております。

千葉県内各地への誘客や当行お取引先の商品・サービスの認知度向上、購入促進等を通じた地域活性化を目的とし、「ちばトク！」掲載先の中から105か所をチェックポイントとした、「ちばトク！デジタルスタンプラリー」を2023年11月3日（金・祝）から2024年1月31日（水）まで開催いたしました。

ちばトク！はこちら <https://chibatoku.chibakogyobank.com/>

